

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3年 10月 29日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200577		
法人名	有限会社 メディカルサービス廿日市		
事業所名	グループホーム千同ひまわり		
所在地	広島県広島市佐伯区千同2丁目6-29 (電話) 082-924-2567		
自己評価作成日	令和3年9月25日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490200577-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年10月14日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

新型コロナウイルスが流行する以前は、地域との関わりも強く、イベント（夏祭り・町内そうじ・秋祭り）など参加していました。千同保育園との交流もあり、行事の「運動会ごっこ」を見に行かせてもらったり園児がホームへ来て歌やダンスを披露してくれていました。現在は、ホーム内での行事を工夫し行っています。ご家族へ絵手紙を作り送ったり、また、温泉へ行きたいとの入居者様の声がありホームのお風呂を温泉風にしてみました。コロナ禍でも楽しく過ごしていただけるように日々、模索しています。日々の生活の中で料理や洗濯物たたみなど家事活動を一緒に行いながら会話も多く笑顔の多いホームです。これからも入居者様・ご家族の思いを大切に意見交換しながら、サービスの向上に努めていきたいと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

コロナ禍であり感染症対策に努める中でも、地域や住民との交流、日常的な関わりを継続するために、毎日の少人数の散歩やドライブ、隣地の町内会長宅での交流会など工夫しながら継続している。浴室を温泉風にアレンジするなどの工夫を行っている。毎年開催している家族会も今年では中止し、代わりに家族アンケートを行い、コロナ禍での家族の不安も高まる中で気持ちに寄り添った項目で実施しており、今の家族の思いを取り組みに活かしている。法人やグループの理念に沿った支援の実践と、職員が毎月順番に考える月間目標の策定など、目指す方向性をしっかりと持ち、地に足を付けた取り組みが展開されている。食事も三食共に手作りであり、利用者の嗜好や季節のものが柔軟に反映され、敷地内の畑から収穫した野菜が食卓に上がるなど、食への楽しさを重要視した取り組みがなされている。

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	活動目標を「地域との交流を大切にします」と掲げているがコロナ禍で毎年行っていた町内会の行事が中止になっている。町内会の回覧板に千同の新聞を回覧して頂いている。月間目標を掲げ毎朝、唱和している。	法人、グループそれぞれの理念を基に事業所独自にケア目標、活動目標「入居者の安心して笑顔で暮らせる環境、地域との交流を大切にする」を策定し、日々の実践に努めている。毎月、職員が順番に担当し考えた月間目標を定め、理念とともに朝礼の唱和や職員ミーティングで適宜確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	以前は、夏祭り・お神輿・保育園交流などがあり入居者様も大変喜ばれていた。コロナ禍では、梅の収穫に声をかけて頂いたり、町内の方の庭を見せて頂いたりした。また、町内の方のカラオケルーム(車庫)を使ってもいいとの声をかけていただいている。正月には、門松を作って下さったり、クリスマスの時期には、ホームの外壁にイルミネーションを地域の方が飾って下さり、夜の点灯時には、地域の方が見に来て下さっている。また、看護実習生受け入れも行なっている。	活動目標「地域との交流を大切にする」を常に意識し実践している。コロナ禍以前では、夏祭りの屋台の協力参加や保育園との交流など、地域との様々な交流やふれあいがあり定例となっていた。現在も感染症対策を基に実践し、門松作りやイルミネーションなど、地域の方と事業所が繋がった活動や関係が継続されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	年に3回、地域の回覧板で新聞を回してもらい、入居者様の様子やグループホーム千同ひまわりの活動を見ていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現在は、コロナ禍の為、法人内でリモート会議を行っている。町内会長・民生委員・地主・地域包括支援センター・認知症地域支援推進員の職員には書面にて参加して頂きご意見を伺っている。リモート会議には、入居者様に参加して頂き意見をいただいている。	現在は書面での意見聴衆、リモート会議にて実施している。資料内容も検討を重ね、運営報告や情報がより伝わりやすくなっており、全家族に配布し活動への理解を深めている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議を行い毎回の議事録を、地域包括支援センターと認知症地域支援推進員に通知し区役所にも持参している。	運営推進会議等を通して、地域包括支援センター職員や認知症地域推進員との意見交換や情報の共有が図られている。運営推進会議報告書は毎回、市の窓口へ持参しており顔の見える関係づくりの取組みを意欲的に継続している。市が主催する研修や実践者研修なども適宜参加している。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束については勉強会やDVDで学ぶ機会を作っている。各階の出入口については、不審者の出入りの対策として施錠している事がある。入居者様にとっては、閉鎖的で弊害も考えられる。入居者様に負担の無いように出られる時にはすぐに開錠している。	グループ内で委員会を開催している。報告や取り組みを共有し、その内容を事業所で周知し支援や取り組みに活かしている。法人内研修をDVDにまとめ全職員が各事業所で研修内容を学べるようにしており、日々の取り組みの中で疑問に思ったことは話し合っていくことが定着している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	コロナ禍の為、研修のDVDを全職員が観ている。勉強会で学ぶ機会を持ち日頃から虐待にあたる事などが無いと話合っている。職員には自己チェックシートを行い日頃のケアを見つめ直す機会を作っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護について、職員は研修や資料を通して理解し、日頃から入居者様の状態を把握しておりコミュニケーションを図っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、解約又は、疑問や質問等がないか確認している。不安なことがあれば説明を行っている。利用後も改定等があればその都度説明し納得していただくように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者様の要望はご本人に話を聞き、ご家族には面会時や電話などで要望をお聞きしケアプランに反映するようにしている。玄関には意見箱を設置している。コロナ禍以前は運営推進会議や家族会の時にも直接ご家族から意見をいただいていた。	日々の関わりから思いを汲み取り、3ヶ月毎のケアプラン作成時にセンター方式にて確認している。家族にはプラン作成時や面会時、電話にて確認し毎年家族会も行い意見交換の場としている。今年は中止し代わりにアンケートを実施した。法人グループでも毎年アンケートを行うなど意向の把握、反映に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフ会議を毎月行い職員の意見や要望を聞いている。それ以外にも意見や要望を随時聞くことができる環境を作っている。	毎月のスタッフ会議をはじめ、定期的な面談や日常のケアの中でも気軽に意見が出せる環境を作っている。管理者は現場で挙げた意見をまとめ法人グループに相談し実現に向け努力している。利用者の対応が大変な状況下に現場の声から検討が行われるなど意見の反映がなされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の個人的な目標は人事考課にて詳しく聞いている。職員の体調などを考慮し安心して働ける環境にある。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内の研修は月1回行われている。外部からの研修の案内はファイリングし職員全員が見る事が出来るようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内のグループホームが6つありホーム長会議で意見交換している。また、運営推進会議の議事録を見れるようにして取り組みなどを共有できるようにしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居される前から携わっておられたケアマネージャーや関連法人の相談員から情報を伺ったり、入居前には面談にてご本人、ご家族からの情報収集を行い、信頼関係を深めている。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご本人、ご家族に利用前には見学に来ていただき、グループホームを実際に見てもらい毎日の生活の説明を行っている。要望や不安があれば聞き取りをしご家族との関わりを大切にしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	その時に必要と思われるサービスを選択し提供出来るように努めている。法人外のサービスで訪問歯科・訪問マッサージ・カットの利用もしている。今後は、法人内の理学療法士による個別訓練も考えている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員全員が認知症という病気を理解し、共に暮らしていくという意識を持ちケアにあたるように努めている。入居者様から時には教えていただいたり信頼関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族を支援される一方の立場には置かず、ご利用時よりご家族が置かれた状況に気を配りながら可能な限りの支援をさせていただいている。面会や電話で日頃の様子を報告したり、何かあった時は相談をさせていただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナ禍以前は入居前から通われていた馴染みの理容室にご家族の協力の上通われる方もおられた。また入居されたご家族や町内の方がボランティアで来られておられた。現在はコロナ禍の為自粛している。	コロナ禍にて面会など控えることが続いているが、通われていた馴染みの美容院に事業所へカットに来てもらったり、近所の馴染みの寺院にも少人数ずつドライブで出かけたり、手紙のやり取りの援助をするなど行っている。それぞれの背景や繋がり注目しできることを細かく実践に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	一緒に家事活動や趣味活動を行うことによりお互いを知り補いながら楽しく尊重し合って生活できるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	体調不良などで入院されても時々職員が様子を伺いに面会に行ったり電話で状態を確認したりしている。また、ご家族からも相談などがあれば傾聴している。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中での何気ない会話や直接希望や思いをお伺いしてご本人の意向の把握をしている。意思表示が難しい方はご家族からの情報や日々の表情などから汲み取るように努めている。職員間で情報共有できるようにノートに記載している。	利用開始時に個々に思いや状態、生活背景を確認している。日常の関わりや担当職員が深く携わることで思いを掘り下げ把握に努めている。共有ノートを使用し思いや意向を職員全員で共有し対応がなされており、意思表示の難しい方にも普段の表情から汲み取ることや家族に確認しながら支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時の基本情報だけでなく日々の関わりで得た情報やご家族やご友人などからも情報収集の協力を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	1日の生活の様子や言動は具体的に記録し何かいつもとは違った様子の時は申し送り情報共有している。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>職員は日々、ご本人やご家族から思いや希望を伺うよう努め3ヶ月に1回、毎月カンファレンスを行い職員間で話し合い入居者様やご家族のニーズに沿ったケアプランを作成している。</p>	<p>3ヶ月毎に介護計画を作成している。ミーティングやノート、担当者の聞き取りなど、細かく情報を把握しまとめており、そこから全員で利用者の役割に着目し検討している。毎月モニタリングにて振り返りを行いプランに反映させている。主治医と相談も行い医療が必要な場合も検討がなされている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>職員は日々の気づきや変化、出来事などを共有のノートに記録し情報を共有している。それを元に入居者様に適したケアプランを計画し実施している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>現在はコロナ禍の為、外出やボランティアの協力などは行っていないが季節のイベントでの面会など既存のサービス以外（訪問マッサージ）も提供できるように取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>現在はコロナ禍の為、地域との交流はできていませんが以前は、地域の夏祭りや保育園の園児との交流、年に1回家族会などは行っていた。最近、地域の方の梅を取りに行かせてもらったり、散歩の時を声を掛け合うなど顔馴染の方もおられる。地域との関わりを持っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人とご家族の要望で今までのかかりつけ医の受診も継続していただける。また、母体である廿日市野村病院への受診も可能である。体調によっては主治医よりご家族へ説明され他院への紹介もされる。歯科受診については希望によっては訪問歯科を受けられる体制になっている。</p>	<p>母体が医療法人であり協力病院としており、協力医や病院看護師との連携も綿密に行える状況があり多くが協力医をかかりつけ医にしている。歯科往診も定期的であり、必要に応じて眼科など専門科への受診も家族の協力を得ながら随時の支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々の気づきなどは、職員の看護師にも常に相談している。週1回、医療連携の看護師に訪問看護記録を利用し相談・報告している。看護師から担当医に報告や相談してもらい指示をもらったり、必要時は受診の指示をもらい連携をとっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院前より、担当医からご家族へ病状説明や治療方針の説明があり、ご家族の意向を聞かれている。入院後は、相談員や病棟の看護師と連絡を取り合い相談している。面会できる時には、お見舞いに行き看護師にも状態を聞き協力しながら行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合に関する指針・看取りに関する指針を明記しご家族より了承を得ている。また、入居者様・ご家族の意向を踏まえ主治医・看護師等と連携をとり最善のケアを行っている。	看取りを実践しており、昨年は2名の看取りを行った。重度化した場合に関する指針、看取りに関する指針を利用開始時に説明しており、その状態を迎えたときに再度確認し、支援を行っている。主治医や法人看護師にこまめに報告し、都度往診があるなど連携を図り最善と思われるケアに尽力している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応については手順をすぐ見れるようにしている。また、個々の病状などに合わせて対応しなければいけない時は、個別に対応方法を決め、職員が把握できるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	毎月1回、火災訓練や避難訓練を夜間帯・日勤帯想定で行い、全職員が身につけられるように訓練している。また、地域の方にも火災時には、連絡がいくようになっていて協力していただけようになっている。年1回は水害時の訓練をしている。	毎月避難訓練を行い、夜間想定を含む災害種別ごとに訓練が実施され、有事の際いざ動けることを念頭に周知、訓練を重ねている。近隣との協力体制も整えており、敷地隣の自治副会長や民生委員、法人のサポート体制など連携が図られ対策が整えられている。備蓄の備えも管理がなされている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	排泄介助などはみんなの前で声をかけないように気をつけている。排泄時もドアはきちんと閉め外で待機するなど入居者様の人格を尊重し一人ひとりに合った誇りを損ねない対応を行っている。	利用者との話も居室に戻りゆっくり話をしたり、排泄の声掛けも周りに配慮した声掛けを行うなど、プライバシーを自尊心への意識をしっかりと持ち入居者一人ひとりに合わせた実践に努めている。接遇も管理者から声を上げて全員で意識できるように取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日頃よりコミュニケーションをしっかりととり声掛けを行い入居者様ご本人が思いや希望を表しやすい状況を作るように努めている。散歩などご本人の意向を尊重し支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員が一人一人の生活のペースを把握し体調も見ながらその時々に応じて休憩をとったりレクリエーションや家事活動に参加してもらうなど入居者様のペースに合わせて職員が動くように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	クローゼットには、季節にあったご本人の着慣れた服があり、ご本人の意向に沿って選んでいただいている。入浴後はご本人の意向でカラーを巻くお手伝いをしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	旬な食材を使い四季が感じられるような献立や行事食を提供している。個々の苦手な食材に配慮し献立を作り毎日の食事や行事食など提供している。個々の嗜好や食べる力を職員はきちんと把握し食事を楽しめるように支援している。	食事は利用者の楽しみ、大事なケアの一つと重視している。三食手作りにて提供され、柔軟に検討がなされる献立にて旬な食材の料理に季節感を感じ、利用者の好みを反映している。調理レクでおやつを作ったり、地域の方から庭でお好み焼きをもてなしてもらい交流を持つなど、食の楽しみに繋げている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食時の水分に加えて10時、15時、入浴後に補水を行っている。食事は状態に合わせてカットしたり、水分にトロミを付けてお出ししている。排便のみられない時はヨーグルト牛乳をご希望によりお出ししている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後の口腔ケアに加え、必要のある方はご家族の承諾の下、訪問歯科にて口腔指導を受けている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄パターンに応じて、トイレへの声かけやトイレ誘導を行っている。業者の方にその方に合ったパッドやオムツなど相談しアドバイスを受けている。</p>	<p>生活、行動記録を元に個人の排泄パターンを把握し個々の支援を行っている。オムツであっても時間に合わせトイレ誘導を行い、バルーン留置の方でもトイレに誘導することで次第に感覚が分かるようになりバルーンを外すことができたなど、それぞれの排泄の自立に向け少しずつの取り組みを積み重ね支援している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘がちな方にはヨーグルト牛乳をお出ししている。野菜を多く取り入れた献立にしている。廊下歩行や体操を日々の日課に取り入れている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>お一人お一人の希望やタイミングに合わせて定期的に入浴していただいている。温泉に入りたいとの要望によりコロナ禍の為、外出が難しいのでホームのお風呂を温泉風にし、入っていただいた。</p>	<p>午前中、週に2、3回の回数で入浴を行いタイミングや希望に添う形で支援している。希望にて午後からの入浴に変更するなど柔軟な対応がなされている。温泉に行くことも難しい状況下から、暖簾をかけ浴槽の壁に富士山の絵を貼ったり、温泉の素を使用するなど温泉風アレンジして楽しめる入浴の工夫を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>照明の明るさなど一人ひとりの 希望に沿って対応している（明 り取りの窓を塞ぐ等）希望者 には午睡を支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>過去の処方箋は直ぐに見れるよ う個別にファイルしている。現 在服用の物は個々の薬袋に一 緒にいれてある。全員の薬名、 目的等を一覧表にまとめて生 活行動記録の最後に貼付してい る。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>一人ひとりが得意としている分 野で力が発揮できるよう支援し ている。（英語力・ちぎり絵・裁 縫・ピアノ・歌唱・絵・ぬり 絵等）</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。</p>	<p>ほぼ毎日希望に沿って近隣の 散歩に応じている。現在外出は コロナ禍の為、外食・買い物は 控えてドライブ（平和公園・自 宅付近）や車内でのソフトク リーム等の飲食に留めている。</p>	<p>コロナ禍であり感染症対策から 外出などは控える形が続いてい るが、中でも日常的な散歩や少 人数でのドライブを毎日個別に 実施し馴染みの場所や周囲の 寺院へ出かけている。以前では 家族の協力も得ながらドライブ など行い、積極的な外出支援 を行っていた。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>コロナ禍以前は買い物・訪問パ ン屋を実施していたが現在は お一人ひとり欲しい物、食べ たい物を聞いて職員が購入して きている。（パン等、家族が遠 方の方は日用品等も）</p>		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話を希望される時はお繋ぎし、携帯をお持ちの方で操作が分からない時はお手伝いしている。ハガキを入居者様と手作りしご家族へ郵送している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用空間には混乱を招くような刺激は無く、リビングでは落ち着いた過ごせるよう懐かしい音楽や動物の映像をおかけしている。壁には季節を感じられるようなデザインの飾りを入居者様と作成し飾っている。</p>	<p>リビングは広く窓も広くとられ明るく開放的な空間であり、ゆったりと過ごせる環境になっている。1階部分ではテラスがよく活用され、利用者が2~3名でゆっくり団欒されることが日常である。常に職員の花の持参がありテーブル飾られ、毎日に彩りが添えられている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングではテレビの見える所にマッサージチェアを置くことで独りでもくつろげるようにしている。ソファは気の合う方とお話しながらテレビが見れるようL字型に配置している。テラスでは椅子を用意しゆっくり外気浴が出来るようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には使い慣れた家具を持ち込まれている。ご家族の写真や、それぞれの好みの置物や作品を飾り心地よく過ごせるようにされている。</p>	<p>利用開始前に自宅を訪問し居室を見学し話を聞いている。それを基に本人や家族の意見を交え居室のベッドや家具の配置を決めている。使い慣れた物の持参も促しており、慣れ親しんだ家具や絨毯を敷いたり、写真や作品を飾るなど入居者それぞれに居心地良く過ごせる環境作りがなされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>それぞれの行動パターンに合わせ家具や離床センサーの配置等、安全に過ごせるよう常に検討している。物の配置がご自分で分かるようにラベルをつけたり、場所が分かるよう目印をつけ自立した生活が送れるようにしている。</p>		

V アウトカム項目(1階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	活動目標を「地域との交流を大切にします」と掲げているがコロナ禍で毎年行っていた町内会の行事が中止になっている。町内会の回覧板に千同の新聞を回覧して頂いている。月間目標を掲げ毎朝、唱和している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	以前は、夏祭り・お神輿・保育園交流などがあり入居者様も大変喜ばれていた。コロナ禍では、梅の収穫に声をかけて頂いたり、町内の方の庭を見せて頂いたりした。また、町内の方のカラオケルーム(車庫)を使ってもいいとの声をかけていただいている。正月には、門松を作って下さったり、クリスマスの時期には、ホームの外壁にイルミネーションを地域の方が飾って下さり、夜の点灯時には、地域の方が見に来て下さっている。また、看護実習生受け入れもおこなっている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会へ千のほほえみ便りを回覧してもらいホームの様子や看護師の豆知識を載せている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現在は、コロナ禍の為、法人内でリモート会議を行っている。町内会長・民生委員・地主・地域包括支援センター・地域支援推進員の職員には書面にて参加して頂きご意見を伺っている。リモート会議には、入居者様に参加して頂き意見を頂いている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議の議事録を地域包括支援センターと認知症地域支援推進員に通知し区役所にも持参している。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束については勉強会やDVDで学ぶ機会を作っている。各階の出入口については、不審者の出入りの対策として施錠している事がある。入居者様にとっては、閉鎖的で弊害も考えられる。入居者様に負担の無いように出られる時にはすぐに開錠している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	勉強会や研修で学ぶ機会を持ち日頃から虐待にあたらないか注意している。職員には自己チェックシートを行い日頃のケアを見つめ直す機会を作っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護について、職員は研修や資料を通して理解し、日頃から入居者様の状態を把握しておりコミュニケーションを図っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の締結、解約又は、改定等の際は、疑問や不安なことには説明を行っている。利用後も状態が変わった時などその都度、説明し納得の上、判断してもらえるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者様の要望はご本人に話を聞き、ご家族には面会時や電話などで要望をお聞きしケアプランに反映するようにしている。玄関には意見箱を設置している。コロナ禍以前は運営推進会議や家族会の時にも直接ご家族から意見をいただいていた。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回スタッフ会議を設け、各階・各係・職員・管理者より、意見・要望・提案など自由に出し合い、施設運営に反映されている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課を半年に1回の個人面談にて個人個人評価されている。また、各研修にも自由に参加でき働きやすい環境である。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内の研修は月1回行われている。外部からの研修の案内はファイリングし職員全員が見る事が出来るようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内のグループホームが6つありホーム長会議で意見交換している。また、運営推進会議の議事録を見れるようにして取り組みなどを共有できるようにしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居される前から携わっておられとたケアマネージャーや関連法人の相談員から情報を伺ったり、入居前には面談にてご本人ご家族からの情報収集を行い、信頼関係を深めている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご本人、ご家族に利用前には見学に来ていただき、グループホームを実際に見てもらい毎日の生活の説明を行っている。要望や不安があれば聞き取りをしご家族との関わりを大切にしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	その時に必要と思われるサービスを選択し提供出来るように努めている。法人外のサービスで訪問歯科・訪問マッサージ・カットの利用もしていただいている。今後は、法人内の理学療法士による個別訓練も考えている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員全員が認知症という病気を理解し、一緒に洗濯物を干したり料理をしていただいたりし信頼関係を築き生活している。入居者様から時には教えていただいたり信頼関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族を支援される一方の立場には置かず、ご利用時よりご家族が置かれた状況に気を配りながら可能な限りの支援をさせていただいている。面会や電話で日頃の様子を報告したり、何かあった時は相談をさせていただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	今まで利用していた美容院をご家族と協力して利用していただいたりご自宅の近くをドライブし、街並みを見ただき馴染みの関係が途切れないように支援している。よく行かれていたマツダスタジアムへドライブに行き本人の思いに添えるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	家事活動や趣味活動、レクリエーションなどを通して、入居者様同士が良好な関係を築けるように職員が間に入って日々楽しく生活していただけるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	体調不良などで入院されても時々職員が様子を伺いに面会に行ったり電話で状態を確認したりしている。また、ご家族からも相談などがあれば傾聴している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中での何気ない会話や直接希望や思いをお伺いしてりしてご本人の意向の把握をしている。意思表示が難しい方はご家族からの情報や日々の表情などから汲み取るように努めている。職員間で情報共有できるようにノートに記載している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時にご家族に基本情報をお聞きし、職員で情報共有している。日々の会話や面会に来られたご家族・ご友人からも情報収集を心がけている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の生活の中で普段と異なる様子の時は、声かけなど行い状態の把握を職員間で共有できるように連絡ノートなどを使用して情報の共有に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人やご家族の思いを日頃からお伺いし、ご要望も把握するようにしている。そして普段の意見交換だけでなく3か月に1回はカンファレンスを行って入居者様のニーズに添えるように努めると共にご家族、ご本人からも要望を聞き、ケアプランを作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>入居者様の日々の気づきや出来事は記録だけでなく連絡ノートにも記載し、職員間で共有している。また、ケアプランに沿った記録ができるように毎日ケアの実践に努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>現在はコロナ禍の為、外出やボランティアの協力などは行っていないが季節のイベントでの面会など既存のサービス以外も提供できるように取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>現在はコロナ禍の為、地域との交流はできていませんが以前は、地域の夏祭りや保育園の園児との交流、年に1回家族会などは行っていた。最近、地域の方の梅を取りに行かせてもらったり、散歩の時、声をかけ合うなどの顔なじみの方もおられる。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人とご家族の要望で今までのかかりつけ医の受診も継続していただける。また、母体である廿日市野村病院への受診も可能である。体調によっては主治医よりご家族へ説明され他院への紹介もされる。歯科受診については希望によっては訪問歯科を受けれる体制になっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々の気づきなどは、職員の看護師にも常に相談している。週1回、医療連携の看護師に訪問看護記録を利用し相談・報告している。看護師から担当医に報告や相談してもらい指示をもらったり、必要時は受診の指示をもらい連携をとっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院前より、担当医からご家族へ病状説明や治療方針の説明があり、ご家族の意向を聞かれている。入院後は、相談員や病棟の看護師と連絡を取り合い相談している。面会できる時には、お見舞いに行き看護師にも状態を聞き協力しながら行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合に関する指針・看取りに関する指針を明記しご家族より了承を得ている。また、本人・ご家族の意向を踏まえ主治医・看護師等と連携をとり最善のケアを行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応については手順をすぐ見れるようにしている。また、個々の病状などに合わせて対応しなければいけない時は、個別に対応方法を決め、職員が把握できるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	毎月1回、火災訓練や避難訓練を夜間帯・日勤帯想定で行い、全職員が身につけるように訓練している。また、地域の方にも火災時には、連絡がいくようになっていて協力していただけるようになっている。年1回は水害時の訓練をしている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	排泄介助などはみんなの前で声をかけないように気をつけている。排泄時もドアはきちんと閉め外で待機するなど入居者様の人格を尊重し一人ひとりに合った誇りを損ねない対応を行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活の中でご本人の思い・希望が言いやすいような声かけ・雰囲気作りをしている。ご本人の意向を尊重し、散歩・献立・ドライブなど行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	お一人お一人のペースで対応し職員側の決まりや都合を優先せずに希望に沿った支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	クローゼットには、季節にあったご本人の着慣れた服があり、ご本人の意向に沿って選んでいただいている。お化粧品や毛染めも職員がお手伝いしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	お一人お一人の食べやすいような形態でお出しし見た目でも楽しんでいただけるよう工夫している。また、食器洗いやお盆拭き・野菜の皮むき等していただいている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食べる量をご本人ご家族の希望をお聞きしお一人お一人に見合った食事量携帯でお出ししている。献立表を作り栄養バランスに気をつけて調理している。水分は、毎食、おやつ時の他、入浴後、散歩後、ご希望時等適宜お出ししている。水分量の少ない方は、水分量を記録し把握している。排便が見られない時はヨーグルト牛乳をご希望によりお出ししている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	訪問歯科にて口腔ケア・治療の為、定期的に診ていただきアドバイスをいただいている。毎食後、お一人お一人に応じた口腔ケアを行っている。夜間、義歯はポリドントを入れケースにつけている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	お一人お一人に応じトイレなどにパット内の確認をしたり尿意・便意が分からない方は定期的にトイレ誘導しトイレでの排泄の自立に向けた支援を行っている。オムツをされている方は定期的にオムツ交換を実施し陰部洗浄を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分補給を細めに促し野菜中心でバランスを考えた献立となっている。廊下歩行や毎身体操を実施している。散歩などにお誘いしている。便秘の際にはヨーグルト牛乳を希望により飲んでいただいている。主治医と相談しながら薬の調整も行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	お一人お一人の希望やタイミングに合わせて定期的に入浴していただいている。温泉に入りたいとの要望によりコロナ禍の為、外出が難しいのでホームのお風呂を温泉風にし、入っていただいた。		

自己 評価	外部 評価	項 目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	お一人お一人の生活習慣や状況 に応じて休んでいただいている。 夜間電気をつけておいて欲しい と希望があればつけて安心して 気持ちよく眠れるように支援し ている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	お一人お一人が使用している内 服薬用法・用量・副作用記載の 薬情報、処方箋は個別にファイ ルしておりすぐにみられるよう にしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	お一人お一人に合った役割では 、洗濯物たたみ、お膳拭き、ゴ ミ出しの手伝い、メダカのエサ やりなどしていただいている。 楽しみごとでは散歩をしてい ただいたり毎日レクリエーショ ンをし気分転換を図る支援をし ている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	コロナ禍の為、外出支援が以 前のようにはできない状態が続 いているが近隣を散歩をしたり ドライブなどの外出をしている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	ご家族の了承を得てご自分で 管理できる方には所持してい ただいている。管理が困難な方 にはコロナ禍で買い物が難しい ので買い物代行させていただ いている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話で希望される方にはホームからかけてお話してもらっている。また、携帯電話を持たれている方で操作が困りの際はお手伝いしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共同空間は混乱を招くような刺激をなくし落ち着いた雰囲気になっている。リビングではソファやマッサージチェアを設置したり机には季節の花を飾ったりしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングにはソファや椅子、マッサージチェアを置いたり独りになれる環境を作ったり気の合う方と並んでお話出来るようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた家具を使っていたり、ご家族の写真を飾られたりと居室はご本人が落ち着けるように工夫されている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	安全に移動できるように各所に手すりを設置し廊下も広くリビングも車椅子やシルバーカーが通りやすいように机の位置にも配慮している。		

V アウトカム項目(2階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> ②数日に1回程度 <input type="checkbox"/> ③たまに <input type="checkbox"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①大いに増えている <input type="checkbox"/> ②少しずつ増えている <input type="checkbox"/> ③あまり増えていない <input type="checkbox"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="checkbox"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="checkbox"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="checkbox"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム千同ひまわり

作成日 令和3年11月25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	43	一人一人に合った排泄の自立を目指す。	個人に合った段階的な排泄の自立を目指す。	排泄の一連の動作についてアセスメントをとり出来る事と出来ない事を見極め介助する。排泄パターンを把握しトイレ誘導する。	6ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。